サポート情報記事

List Filter Online でのグループ化、並べ替え、集計

2026 © Vitextra SIA. 無断転載を禁じます。

免責事項

本免責事項の適用上、次のとおり定義します。

- **会社** (本免責事項では「当社」と表記します) とは、Vitextra SIA (Matīsa iela 61-25, Rīga, LV-1009, Latvia) を指します。
- **本ドキュメント**とは、ナレッジベースの記事を指します。
- **お客様**とは、本ドキュメントにアクセスする個人、または該当する場合は、その個人が本ドキュメントにアクセスまたは使用する際に代理となっている会社その他の法人を指します。
- **本 Web サイト**とは、https://vitextra.com からアクセスできる Vitextra を指します。

免責事項

本ドキュメントに記載されている情報は、一般的な情報提供のみを目的としています。

当社は、本ドキュメントの内容における誤りや脱漏について、一切責任を負いません。

いかなる場合も、契約上の訴訟、過失、その他の不法行為上の訴訟であるかを問わず、本ドキュメントの内容の使用に起因または関連して生じる、特別損害、直接損害、間接損害、結果的損害、付随的損害、またはその他一切の損害について、当社は責任を負いません。当社は、事前の通知なく、いつでも本ドキュメントの内容に追加、削除、または変更を行う権利を留保します。

誤りおよび脱漏に関する免責事項

本ドキュメントに記載されている情報は、関心のある事項に関する一般的な指針を示すことのみを目的としています。そのため、本ドキュメントの内容を最新かつ正確に保つために当社があらゆる予防措置を講じている場合でも、誤りが生じる可能性があります。また、法律、規則、規制は変化するため、本ドキュメントに記載されている情報に遅れ、脱漏、または不正確な点が含まれる場合があります。

当社は、誤りや脱漏、またはこの情報の使用によって得られた結果について、責任を負いません。

フェアユースに関する免責事項

当社は、著作権者から明示的な許可を得ていない著作物を使用する場合があります。当社は、批評、論評、ニュース報道、教育、学術研究、または調査の目的で、そのような資料を提供しています。

当社は、これが、米国著作権法第 107 条に規定されている、当該著作物の「フェアユース」にあたると考えています。

お客様が、フェアユースの範囲を超えて、ご自身の目的で本ドキュメントの著作物を使用することを希望される場合は、著作権者から許可を得る必要があります。

「自己責任での使用」に関する免責事項

本ドキュメントのすべての情報は、完全性、正確性、適時性、またはこの情報の使用によって得られる結果について何ら保証することなく、また、性能、商品性、特定目的への適合性に関する保証を含むがこれらに限定されない、明示または黙示を問わずいかなる種類の保証もなく、「現状のまま」提供されます。

当社は、本ドキュメントに記載されている情報に依拠して行われた判断や措置、または結果的損害、特別損害、もしくはこれらに類する損害について、たとえそのような損害の可能性について知らされていた場合でも、お客様またはその他の者に対して責任を負いません。

お問い合わせ

本免責事項についてご不明な点がある場合は、メール (support@vitextra.com) でお問い合わせください。

目次

はじめに 4

並べ替え 4

プロパティ ウィンドウの 並べ替え設定 4

並べ替えが可能な列 5

ユーザーによる並べ替え 5

グループ化 6

グループ化の設定 6

グループの表示方法 7

グループとページング 8

集計 8

集計の設定 8

列の種類別の関数 9

集計が表示される場所 10

Excel へのエクスポート 10

制限事項 11

用語 12

はじめに

リスト　ビューの有用性は、項目をどのような順序で並べるかによって決まります。List Filter Online では、ページ作成者が、**SharePoint** のリストやドキュメントライブラリの項目をどのように並べ替えるか、グループにまとめるかどうか、テーブルの下にどの集計値 (カウント、合計、平均など) を表示するかを決定できます。ユーザーも、列ヘッダーから自分でビューを並べ替えることができます。

この記事は、この動作を制御する 3 つのプロパティ ウィンドウ グループ (**並べ替え、グループ化、集計**) と、並べ替え、グループ化、集計がページング、フィルター、Excel へのエクスポートとどのように連携するかについてのリファレンスです。ここで説明する内容はすべて、ツールボックスに「List Filter」として表示される Web パーツに適用されます。

メモ

この Web パーツは、リストのビューを使用しません。並べ替え、グループ化、集計は Web パーツ自体で構成し、SharePoint で定義されたビューとは無関係です。

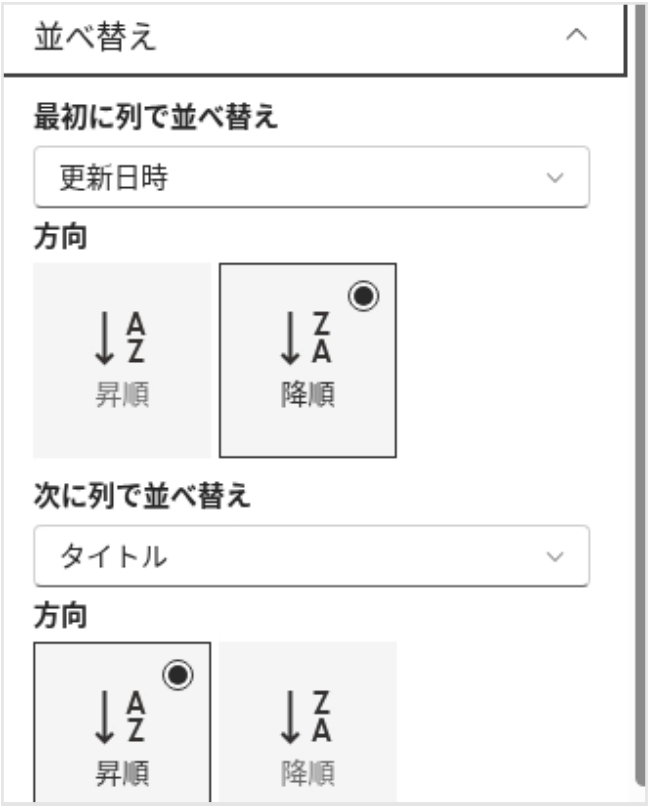
並べ替え

プロパティ ウィンドウの 並べ替え設定

プロパティ ウィンドウの **並べ替え** グループでは、項目の既定の順序を定義します。2 組の設定があります。

- **最初に列で並べ替え** - 主となる並べ替え列と、その **方向: 昇順** または **降順**。
- **次に列で並べ替え** - 最初の列の値が同じ項目に適用される副の並べ替え列と、それ自体の **方向**。

どちらのドロップダウンも、最初の項目は **(なし)** です。1 つの列だけで並べ替えるには、2 番目のドロップダウンを **(なし)** のままにします。両方を **(なし)** にすると、SharePoint が既定の順序で項目を返します。構成した並べ替えはクエリの一部として SharePoint に送信されるため、画面に表示されている行だけでなく、結果のすべてのページに適用されます。



プロパティ ウィンドウの 並べ替えグループ

並べ替えが可能な列

ドロップダウンには、SharePoint　自体が並べ替え可能とマークしている列のみが一覧表示されます。さらに Web パーツは、いくつかの内部列 (Title 列のリンク バリエーション、コンプライアンスおよび保持の列、「アプリによる作成者」/「アプリによる更新者」列) を非表示にします。複数行テキスト、複数選択の列、複数値のルックアップ列やユーザー列など、SharePoint　が並べ替えを行わない列は表示されません。

ユーザーによる並べ替え

ユーザーは、テーブル自体から順序を変更できます。列の構成ツールで　**並べ替え可能** オプションがオンになっている列では (「KB10258. List Filter Online での列の構成: 見出し、形式、表示オプション」を参照)、列ヘッダーをクリックすると、**A から Z に並べ替え** と **Z から A に並べ替え** を含むメニューが開きます。現在の並べ替えは、メニュー内とヘッダーの矢印でマークされます。



列ヘッダー メニューからの並べ替え

ユーザーが選択した並べ替えは、ページが開いている間、プロパティ　ウィンドウで構成した並べ替え (1 番目の列と 2 番目の列の両方) に置き換わります。この並べ替えはサーバー上で適用されるため、他のページの項目にも反映されます。ページを再読み込みすると、リセットされます。

メモ

フィルター可能 であっても **並べ替え可能** オプションがオフになっている列では、ヘッダー　メニューは開きますが、フィルターの値のみが表示されます。どちらのオプションもオフの列には、ヘッダー メニューがありません。

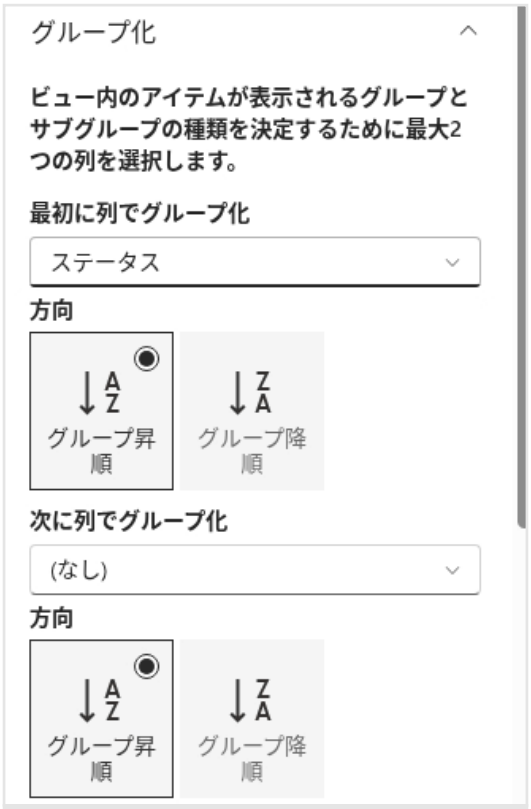
グループ化

グループ化の設定

プロパティ ウィンドウの **グループ化** グループでは、列の値が同じ項目を共通の見出しの下にまとめます。ウィンドウには、「グループ化に使用する列を最大 2 つ選択します。」 というヒントが表示され、続いて次の設定があります。

- **最初に列でグループ化** と、その **方向: グループ昇順** または **グループ降順**。
- **次に列でグループ化** と、それ自体の **方向**。このドロップダウンは、最初の列を選択するまで無効になっています。

グループ化に使用できる列は、並べ替えに使用できる列と同じです。



プロパティ ウィンドウの グループ化グループ

グループの表示方法

各グループは、グループ化列の値と、括弧内に SharePoint が報告するグループ内の項目数を含む見出し行として描画されます。値が空の項目は、**(タイトルなし)** という見出しの下にまとめられます。グループはビューの読み込み時に展開されており、見出しのシェブロンをクリックすると、そのグループが折りたたまれたり展開されたりします。



タイトル	部署	プロジェクト	ステータス	担当者	期限	金額	更新日時
完了 (7)							
進行中 (4)							
各部署の見通しを集...	経理	2027 年度予算	進行中	Diego Siciliani	2026/10/13 15:00	¥0.00	2026/10/13 01:28
モバイル アプリのベ...	開発	モバイル アプリ	進行中	Lee Gu	2026/10/31 15:00	¥980,000.00	2026/10/13 01:27
顧客の連絡先を CRM ...	営業	CRM 導入	進行中	Isaiah Langer	2026/10/19 15:00	¥640,000.00	2026/10/13 01:27
件数 11					最大 2026/10/31	合計 ¥3,190,000.00	

列でグループ化された項目 (見出しに項目数を表示)

警告

現在のバージョンでは、Web　パーツは最初のグループ化列に対してのみ見出しを描画します。次に列でグループ化 で選択した列は SharePoint に送信され、各グループ内の項目の順序を決定しますが、入れ子になったサブグループの見出しは表示されません。また、グループを折りたたんだ状態で開く設定はありません。グループは読み込み時に常に展開されており、ユーザーが手動で折りたたみます。

グループとページング

グループ化は、SharePoint が現在のページに対して返す項目に適用されます。アイテム制限 グループで 指定したサイズのバッチでアイテムを表示します。 を選択している場合、各ページは個別にグループ化されます。次のページに項目が続くグループは、そのページに再び表示されます。すべてのグループを 1 つの画面に完全に表示するには、返されるアイテムの総数を指定した量に制限します。　　を選択し、リストに対して十分な大きさの 行数の上限 を設定するか、フィルターで結果を絞り込みます。

集計

集計の設定

プロパティ ウィンドウの 集計 グループには、「表示する集計を 1 つ以上選択します。」 というヒントと 列の選択 ボタンがあります。このボタンをクリックすると 列 パネルが開き、対象となる列ごとに 1 行が表示されます。各行には、列、その列の種類、適用する関数を選択する 合計 ドロップダウンがあります。集計を削除するには なし を選択し、保存をクリックします。選択した集計は、ボタンの下に「列 (関数)」の形式で一覧表示されます。

一覧に表示されるのは、ビューに含まれ、SharePoint　が集計できる列のみです。複数行テキスト、複数選択、計算値、複数値のルックアップの各列、およびファイル名、添付ファイル、子の数の各列は表示されません。



列パネルでの集計の選択

列の種類別の関数

関数	フッターでの表示	列の種類
カウント	**件数**	集計可能なすべての列の種類
平均	**平均**	日付と時刻、数値、整数、通貨
最大	**最大**	日付と時刻、数値、整数、通貨
最小	**最小**	日付と時刻、数値、整数、通貨
合計	**合計**	数値、整数、通貨
標準偏差	**標準偏差**	数値、整数、通貨
分散	**分散**	数値、整数、通貨

テキスト、選択肢、ルックアップ、ユーザー、はい/いいえの列では、**合計** ドロップダウンに **件数** のみが表示されます。日付または数値の列では、7 つの関数すべてが表示されます。

メモ

日付と時刻の列のドロップダウンにも、**合計**、**標準偏差**、**分散**　が表示されます。これらの関数は数値列を対象としたものです。日付には　**件数**、**平均**、**最小**、**最大** を選択してください。

集計が表示される場所

集計は、テーブルの下の 1 行のフッター行に表示されます。集計対象の各列のセルには、関数の名前と、太字でその値が表示されます。他の列のセルは空のままです。フッターは、現在のページに少なくとも 1 つの項目がある場合にのみ表示され、項目の読み込み中は非表示になります。Web パーツは、グループごとの集計は表示しません。



テーブルの下の集計行

値は Web パーツではなく SharePoint によって計算されます。Web パーツは選択した関数をクエリに追加し、SharePoint　が項目と一緒に返す値を表示します。したがって、集計には、現在のクエリに一致する項目、つまり Query Builder の事前定義のフィルター、ユーザーがフィルター　ウィンドウや列ヘッダーから適用したフィルター、フォルダー内に項目を表示している場合は現在のフォルダーの内容が反映されます。フッターの数値、通貨、日付の値は、SharePoint　が返した状態のまま表示されます。Web　パーツが集計に独自の書式を適用することはなく、列の構成ツールで列に対して選択した表示形式も集計には影響しません。

Excel へのエクスポート

コマンド ツールバーの **エクスポート** メニューを使用すると、項目が静的な Excel ブックに書き出されます。グループ化がオンの場合、項目はグループ化された順序、つまりグループごとにエクスポートされます。グループの見出し自体は、個別の行としては書き出されません。**すべてのアイテム**　をエクスポートした場合、集計行がテーブルの下部に太字で追加され、罫線で区切られます。**現在のページ**　と **選択されたアイテム**　では、集計行なしで行がエクスポートされます。エクスポートのオプションについては、KB50022. SharePoint リストを Excel にエクスポート

する方法を参照してください。

制限事項

警告

グループ化または集計を使用するビューを計画する際は、次の点に留意してください。

用語

SharePoint

SharePoint は、コンテンツ管理、ドキュメント管理、ワークフロー アプリケーション、検索、その他のツールを提供する Web ベースのコラボレーション プラットフォームで、従業員やチームが共同で作業できるようにします。SharePoint は、共有情報を保存、整理、アクセスするための安全な場所でもあります。

リスト

リストは、SharePoint のストレージ単位です。リストには、さまざまな種類の列、コンテンツ タイプ、ビューを含めることができます。ドキュメント ライブラリは特別な種類のリストであるため、リストの機能を継承します。